



## 自他を高める「共学」、「共感」、「共育」の1年を！

校長 黒田 宏一

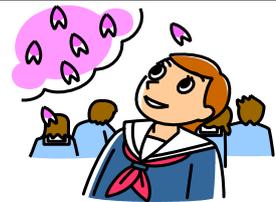
新たな出会いと希望あふれる出発の月～4月。139名の新入生を迎えた入学式より1週間が経ち、学校はやる気（意欲）と活気に満ちあふれています。校庭で活動する運動部の生徒も一つずつ学年が上がった自覚からでしょうか。3月までの活動と意気込みが違って見えます。また、創立71年目の本年度の4月は、1年のスタートだけではなく、新たな10年（第八の10年）のスタートという意味も持っており、本年は創立70周年を祝す記念式典も予定されています。ただ、祝うといっても生徒のよりよい成長が最も大事なことです。本年もその自覚を持ち、教育活動を推進して参ります。保護者・地域の皆様のご協力をお願いいたします。

さて、平成28年度は交流及び共同学習、情報モラル教育、オリンピック・パラリンピック教育等の取組を推進・充実させながら「『実感』のある学び、『感謝』のある心、『感動』のある学び舎」を目指し、重点目標として取り組んで参りました。一方で、昨年度末には次期学習指導要領が告示され、新しい時代をよりよく「生きる力」ために必要な資質・能力（知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成、学びに向かう力・人間性の涵養）の育成が求められています。このような昨年度までの成果や課題、今後の方向性などを踏まえながら、本年度は次の教育活動を推進して参ります。そのキーワードは『共（共に）』です。昨年度の「実感」「感謝」「感動」は自分自身に対する目標でした。その基盤の上に本年度は「自他共に高まる」ことを目標に設定しました。

### <学校教育目標>

「たくましい、心豊かな人間をめざして」次の目標を設定する。

1. 自ら学び、考え、自主的な行動をしよう。
2. 豊かな創造性を養おう。
3. 思いやる心をもとう。
4. 健康な心身をつくろう。



### <平成29年度の学校経営の重点>

≪平成29年度の目標≫

「共学（共に学ぶ）」、「共感」、「共育」による学舎の創造

≪学校経営の重点≫

(1) 共に学ぶ「共学」（確かな学力の向上）

- ①生徒の学びの質を高めるため、授業力の向上を図りながら、「基礎的な知識・技能」の習得に努める。
- ②問題解決型学習を推進し生徒主体の授業展開を工夫し、生徒の思考力・判断力・表現力を高めるとともに、「主体的な学び」の視点に立ち支援する授業実践を行う。
- ③特別支援教育の視点に立った授業実践に取り組むとともに、一中の「交流及び共同学習」を推進する。

(2) 自他を大切にする「共感」（心の教育の充実）

- ①規範意識を醸成と公共心の涵養に努めるとともに、基本的生活習慣の確立を図る。
- ②道徳授業、ボランティア活動等の推進を通して、自尊感情や自己有用感の醸成とともに他者を大切にする「温かい心」を育てる教育の充実を図る。
- ③いじめのない学校、不登校生徒の減少を目指し、「生命尊重」の精神を涵養する。
- ④情報モラル教育を推進し、「SNS一中ルール」の見直しを通し、適切な活用方法について生徒が考える取組を行う。
- ⑤様々な機会を通し生徒の声に耳を傾け、スクールカウンセラー等と連携を図り生徒理解に努める。

(3) 共に育つ「共育」（特別活動の充実）

- ①生徒一人一人が大切にされる学級・学年を創り、生徒との信頼関係を構築し深める。
- ②限られた時間・準備の中で、生徒が主体となって活動する学校行事を創造する。
- ③学校教育の一環としての部活動等の諸活動を通して、自主的・自律的運営の充実を図る。

最後になりますが、全教職員、全力を挙げて教育活動を推進して参ります。保護者、地域の皆様には、大変お世話になりますがご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。